

平成29年12月 教育委員会会議録(要旨)【12月27日(水)】

<p>〔開会の宣告〕 遠藤教育長</p> <p>〔会議の成立〕 遠藤教育長</p> <p>〔公開の審議〕 遠藤教育長</p> <p>遠藤教育長</p>	<p>平成29年12月定例教育委員会会議を開会する。</p> <p>本日は、私の他5人の委員が出席しているので、この会議は成立する。 会議録署名人は、泉委員と出川委員とする。</p> <p>本日の会議日程について、協議(1) 報告(4)については、「正式公表前の案件」に該当し、協議(2)については、「教育施策の意思決定過程中的案件」に該当することから、会議規則第13条に基づき非公開の審議が適当と考えるが、協議(1) 報告(4)及び協議(2)について、非公開に賛成の委員は、挙手をお願いします。</p> <p>(全員挙手)</p> <p>全員賛成により、協議(1) 報告(4)及び協議(2)については、非公開とする。</p>
<p>日程第1 前回会議録承認</p>	
<p>遠藤教育長</p> <p>遠藤教育長</p>	<p>11月15日開催の平成29年11月定例教育委員会会議録を承認することに異議があるか。</p> <p>(異議なしの声)</p> <p>異議なしと認め、前回会議録を承認する。</p>
<p>日程第2 事務局報告</p>	
<p><u>(1) 事業・行事等報告について</u></p> <p>前回会議(H29.11.15)以降の事業・行事報告(主なもの)</p>	

平成29年12月 教育委員会会議録(要旨)【12月27日(水)】

<p>11月19日(日) 21日(火) 22日(水) 23日(木) 12月22日(金) 25日(月)</p>	<p>平成29年度第10回「くまもと教育・文化フォーラム」 第56回九州地区学校体育研究発表大会 第4回定例市議会開会(～12月12日) 熊本県PTA連合会 熊本市PTA協議会 合同研究大会 市立幼稚園・高校・特別支援学校終業式 市立小・中学校終業式 熊本市一斉街頭指導出発式</p>
<p>今後の予定(主なもの)</p>	
<p>1月 9日(火)</p>	<p>市立小・中・高校始業式 熊本市PTA協議会主催一斉あいさつ運動</p>
<p>日程第3 議 事</p>	
<p>・議第65号 臨時代理の報告について</p>	
<p>(熊本市立高等学校条例の一部改正について)</p>	
<p>《中村学務課長 提出理由説明》</p>	
<p>〔採決〕 【原案どおり承認された】</p>	
<p>日程第5 報 告</p>	
<p>・報告(1) (平成29年第4回定例市議会報告について)</p>	
<p>西山委員         西特別支援教育室長</p>	<p>《松永総括審議員・橋爪学校教育部長 報告》</p> <p>資料6-11の質疑要旨に「市立幼稚園における特別な教育的支援を要する園児等の受入状況とその取組について」とあり、その応答要旨に、「教員の特別支援教育に係る専門性の向上に努めている」とあるが、具体的にどのようなことを行っているのか。</p> <p>現在、笑顔いきいき特別支援教育推進事業を行っており、本</p>

平成29年12月 教育委員会会議録(要旨)【12月27日(水)】

	<p>市全体の小中学校も合わせた研修会等に参加することなどを通して、幼稚園の教員の専門性の向上を図っている。</p>
<p>西山委員</p>	<p>幼稚園には、特別支援教育に携わる専門の先生がいるのか。</p>
<p>西特別支援教育室長</p>	<p>現在、ことばの教室の指導者として10名いる。</p>
<p>泉委員</p>	<p>資料6-7のスクールソーシャルワーカーについて。 現在、子どもの貧困問題があり、今後、福祉においても、子ども関係の問題が増えてくる可能性があり、それははじめにもつながると考えられる。スクールソーシャルワーカーだけで対処するのか。どういった改革を考えているのか。</p>
<p>橋爪部長</p>	<p>全てについてスクールソーシャルワーカーだけで対応するのではなく、担任やスクールカウンセラー、外部機関である警察等も含めたチームで連携して対応することを考えている。今後、そのような連携がとれている学校を、モデルとして紹介していきたいと考えている。</p>
<p>泉委員</p>	<p>学校への人員増員は考えていないか。</p>
<p>橋爪部長</p>	<p>現在、スクールソーシャルワーカーが持つケース数が非常に増加しており、時間数の増加や、人員増員を目指すところではある。しかし、学校で、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー、児童相談所、警察等がバラバラに対応するのではなく、それら機関の横のつながりをしっかりとつくり、子どもや家庭に関わることのできる環境づくりを目指していく。</p>
<p>泉委員</p>	<p>キーパーソンは担任なのか。</p>
<p>橋爪部長</p>	<p>生徒指導部等で情報提供をし、学校内での情報共有を行い、子どもに、単発的に、点で関わるのではなく、線と面で関わることのできる環境、また、スクールソーシャルワーカーとスクールカウンセラーがしっかりと情報交換ができる環境づくりを行う。また、スクールソーシャルワーカーは現在「派遣」であるが、他県では、「配置」を試しているところもあり、本市においても、そういった試みを行っていきたいと考えている。</p>

<p>西山委員</p>	<p>資料6-4の教員免許更新制について。 「教員免許更新制の検証について」という質問は、具体的にはどういう趣旨の質問であるか。</p>
<p>木櫛教職員課長</p>	<p>熊本県において、免許が失効していた教員があったとの報道があり、そういう事例が生じないように、ということが質問の趣旨だと捉えている。当方としては、教員に更新時期について周知するとともに、リスト化等に取り組んでいるとの応答を行ったものである。</p>
<p>西山委員</p>	<p>教員免許更新制に自ら関わったことがあり、難しさを感じたことがあった。熊本大学で教員免許更新の講座を開講しており、以前、中学・高校の理科の教員を対象にした地学の講義を行ったことがある。新しい知識を身につけるという点では、大学教員から先端の情報を聞くことに意味はあると思うが、教員からは、現場ですぐに役立つ情報がほしいとの要望が出る。大学で教えていることをそのまま開講しても役に立たないと。具体的には、高価な顕微鏡を使って講義を行ったのだが、新しいことを知ることができて良かったという反応がある一方で、そのような設備は学校現場にはなく、学校で活用できない内容は意味がないとの反応もあった。資質向上につながるかどうか難しく、特に学校で直接役立つことを教えてほしいという要望を持った方には応えられず、ジレンマがあると感じた。この点を、今後どのように考えていけばよいか考えるところである。</p>
<p>木櫛教職員課長</p>	<p>受講者の希望する講義もあれば、希望しない講義に出ることもあるということは聞いており、講義内容が必ずしもニーズに即したものになっていないという課題があると聞いている。当方としては、更新講習を実施していただいている大学と、ニーズについて検討し、内容の充実に取り組んでいただければと考えているところである。</p>
<p>西山委員</p>	<p>大学にこういうニーズがあるとの要望を出してもらえれば、対応可能か検討できるため、ニーズを明確にした方がいいと思う。</p>
<p>遠藤教育長</p>	<p>私も昨年度まで3年間、大学で更新講習の講義を行っていたが、受講生の反応は賛否両論であった。普段役立つことを教え</p>

	<p>ることが免許更新講習の役割なのかということも考えるべきだと思う。自ら進んで受ける研修がある一方で、免許更新講習は望まなくても受講させられるものである。免許更新講習は、自分で選んで学ぶものだけではなく、それ以外のものを学ぶ機会でもあると捉えれば、自分が望まない内容が一定程度含まれる方が、免許更新講習としての意味があるのではないか。そういう意味では、大学の方で、これが必要だと考えたことを提供することがあっていいのではないか。完全に受講者が求めるものだけを提供することが更新講習の役割ではないと考える。</p>
<p>西山委員</p>	<p>最後に試験を行うことも悩ましい点である。試験をする意味はあるのか。また、たった一日の講習が役立つのかも感じる。</p>
<p>遠藤教育長</p>	<p>答弁にもあるように、国も検証を進める必要があると思っており、今後、制度の改善について検討をしていかなければならないと思う。</p>
<p>小屋松委員</p>	<p>免許更新は、30時間講習を受けないといけないというものか。</p>
<p>木櫛教職員課長</p>	<p>2年間で30コマ(1コマ=1時間)を受講いただくことが更新の条件である。</p>
<p>小屋松委員</p>	<p>大学で行っているとのことだが、カリキュラム等の内容は全て大学に任せているのか。</p>
<p>遠藤教育長</p>	<p>そうであるが、大枠は国が決めている。</p>
<p>小屋松委員</p>	<p>せっかくの機会なので、この講習を利用して、色々な講習を受けてほしいと考える。人間の幅を大きくするような、また教師としての素養を高めるような講習はあるのか。</p>
<p>木櫛教職員課長</p>	<p>必修の項目、選択性の必修項目、自由選択項目に分類されており、その中には様々な内容が含まれるが、人格形成等に関する講習が含まれるかどうかまではわからない。</p>
<p>小屋松委員</p>	<p>多様な観点からのカリキュラムが検討される機会があるといいと思う。</p>

<p>西山委員</p> <p>遠藤教育長</p> <p>西山委員</p>	<p>大学では、そこまで責任を持って考えている状況ではない。講師として割り振られ、講義を実施しており、高い意識を持っているとは言えない。教えられる範囲で教えようという意識であるため、その点は課題であると感じている。</p> <p>大学での全体のバランスを取りながら、開講されるものであり、多様にできない部分もあると思われる。一つの大学だけで受講しなければならないものではなく、他の大学等で受講することもできる。</p> <p>大学だけではなく、学会で開講しているところもある。</p>
<p>・報告(2) 平成29年度第2・3回「学校改革！教員の時間創造プロジェクト」会議 について</p>	
<p>出川委員</p> <p>上村教育政策課長</p> <p>出川委員</p> <p>上村教育政策課長</p> <p>泉委員</p>	<p style="text-align: center;">《上村教育政策課長 報告》</p> <p>このプロジェクトは、いつ終了するなどの目途はあるのか。</p> <p>複数の取組項目があり、それぞれの方向性について、今年度中にとりまとめを行う予定である。合わせて今年度中にプログラムの策定をし、各学校現場にも周知したいと考えている。プログラムでは、熊本市教育振興基本計画の計画期間(平成28年度～31年度)に合わせ、平成31年度までの指標を設定することにしている。</p> <p>実施は来年度からか。</p> <p>既に実施している項目もあるが、その他、予算が必要な項目や組織を立ち上げる必要がある項目等については、今年度中に方向性をとりまとめる。</p> <p>平成29年度から教職員情報システムを導入したとあるが、現在勤務時間は100%わかっているのか。</p>

平成29年12月 教育委員会会議録(要旨)【12月27日(水)】

<p>木櫛教職員課長</p> <p>泉委員</p>	<p>職員カードがICカードになっており、出勤時と退勤時に、職員室等に設置された端末のカードリーダーに職員カードをかざすと、個々の勤務時間が記録され、1ヶ月あたりの勤務時間が把握できる。今年4月から市で給与を支払うことになったことに合わせて導入、稼働している。概ね打刻されているが、100%は把握できておらず、精度を高める余地はあると思う。</p> <p>仕事に熱心に取り組む人ほど忘れることもあると思われるので、徹底してほしい。</p>
<p>・報告(3) 子どもの生活等実態調査結果(概要)について</p>	
<p>西山委員</p> <p>池田子ども支援課長</p> <p>出川委員</p>	<p>《池田子ども支援課長 報告》</p> <p>資料8-10-2にある「経済的理由での経験(子どもが希望したができなかったこと)」について、「医療機関を受診できなかった」ということは深刻だと思われるが、こういうケースへの何らかの支援策はないのか。</p> <p>現行では、ひとり親等に対して1割の負担で受診できるという支援制度がある。この受けられなかった理由について、そのような支援があるけれども知らなかったのか、制度を十分に活用されていないのか、といった分析を今後更に進めていきたいと考えている。</p> <p>資料8-7-2の「朝食を食べる頻度」がひとり親世帯では、ふたり親に比べて顕著に低いという結果が出ている。また、資料8-13-5の「悩みごとの有無」で、所得が低い保護者ほど悩みを抱えているという結果がある。更に、資料8-14-5で、所得が低いほど、学校の勉強のことで悩んだり、心配したりしているという結果となっている。これらのことが、子どもの学校生活の中にどのような影響を与えているのか、この調査結果から続けて調べて明らかにし、この調査を生かした具体的な施策へとつなげていく必要があるのではないか。</p>

平成29年12月 教育委員会会議録(要旨)【12月27日(水)】

上村教育政策課長	<p>今年度、子ども支援課で、子どもの貧困対策に対するプロジェクトチームを立ち上げると聞いている。その中に教育委員会からもメンバーとして参加することになっており、その中で学校とどのような関連があるのか、どのような施策が必要かといったことを議論していきたいと考える。</p>
泉委員	<p>貧困化の問題で、このような問題はあるだろうと予想はしていたが、様々な問題について、きちんと数字となって結果が出ている。まずは、教師がこのような実態をどのくらい認識するか、理解するかということが、大事であると考え。個々の教師がそのような知識を持って、子どもたちを見ていくことが大切である。この結果を学校との共通認識として持つべきであると思う。</p>
西山委員	<p>アンケートでは把握できない重要な問題として虐待問題があると思う。先日も虐待事件の報道があったが、何故把握できないのかと残念に思う。虐待事案も少なからずあると考えられるため、何とか把握して、状況を改善させる努力が必要だと思うがどうか。</p>
徳永総合支援課長	<p>虐待など、家庭に様々な課題を抱えて、学校に登校している子ども、また、登校できない子どもがいることは大きな課題であると認識している。担任をはじめとした学校職員がそのような情報について、敏感に察知するように努めているところである。また、先ほども話に上がった、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、各区役所にある保健子ども課、児童相談所、警察等の関連機関とのネットワークもだんだんと広がり、連携を図っているところである。子どもの命に関わることについて、特にアンテナを高く張り、様子に変化のある子どもは保健室で確認するなどの取り組みに努めているところである。</p>
西山委員	<p>毎年どのくらいの虐待案件があるか把握できているか。</p>
池田子ども支援課長	<p>平成28年度で、児童相談所は、570件くらいの相談を受けている。また、各区役所にある保健子ども課では、5区合わせて毎年約200件の相談を受けているところである。</p>



<p>小屋松委員</p>	<p>この調査結果から、教育委員会が主体的に取り組むべき、喫緊の課題はあったか。</p>
<p>上村教育政策課長</p>	<p>この結果から、教育委員会が主体となって取り組む課題について、現段階ではまとめられないが、子どもたちの家庭状況等について健康福祉局と情報交換等を行い、子どもたちの現状把握に努め、学校教育に生かしていきたいと考える。</p>
<p>遠藤教育長</p>	<p>この調査結果から、家庭の経済状況やひとり親であるということによって、生活の幅広いところに影響があるということ認識しなければならない。個別の一つ一つが問題であるというよりは、全てつながっており、全体を見て、教育委員会として、また、健康福祉局として、どのような対策をとらなければならないか考える必要があると思う。</p>
<p>小屋松委員</p>	<p>この結果を共有する機会はあるか。</p>
<p>遠藤教育長</p>	<p>関係部職で共有し、これからの対策を検討していかなければならない。</p>
<p>〔非公開の審議〕</p>	
<p>日程第4 協 議</p>	
<p>・協議(1) 平成30年度当初予算要求の概要について</p>	
	<p>《上村教育政策課長 説明》</p>
<p>・協議(2) 市立特別支援学校小中学部校名の選定について</p>	
	<p>《西特別支援教育室長 説明》</p>

日程第5 報告

・報告(4) 子どもたちの心のケアについて

《徳永総合支援課長 報告》

〔閉会〕  
遠藤教育長

本日の日程は全て終了したので、平成29年12月の定例教育委員会会議を閉会する。